

令和4年第10回大山町議会定例会一般質問

令和4年12月15日・16日

通告順	議席 番号	氏 名	質 問 事 項
1	11	杉谷 洋一	1. 豊かな森林資源の維持を
2	9	大杖 正彦	1. コロナ禍における不登校問題と教育支援の方針
3	7	門脇 輝明	1. 大山町の人口減少対策について
4	2	西本 憲人	1. 感染者数世界1である歯周病対策は 2. 全員英語が話せる町はいつやるのか
5	6	池田 幸恵	1. 農産物加工場の活用は
6	13	吉原 美智恵	1. 大山町における森林管理の現状と課題は
7	8	大原 広巳	1. 堆肥活用について 2. 山陰道定江インター跡地活用事業について 3. 防災対策について
8	3	豊 哲也	1. フリースクールへの支援について 2. オーガニック給食・オーガニックビレッジ宣言について
9	1	小谷 英介	1. 岡山県和気町の取り組みについて（教育環境の充実、転入転出の動機調査）
10	4	島田 一恵	1. 起業支援事業の拡充について 2. 生活道路の改善整備支援について
11	14	岡田 聰	1. 住宅増加地域の環境整備を 2. 令和5年度予算編成方針と財政運営は
12	12	近藤 大介	1. 大山町のまちづくりについて
13	10	大森 正治	1. デジタル化とマイナンバーカードについて問う

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号 11番 大山町議会議員 杉谷洋一



## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1 豊かな森林資源の維持を</p> <p>日本の森林面積は、国土の3分2に当たる約2500万haで、森林率は68.4%でフィンランド、スウェーデンに次ぎ世界第3位である。人工林の半分が成熟し50年生を超越利用期を迎えていると言われ、森林を適正に管理し林業の持続性を高める必要がある。</p> <p>豊かな森林資源を維持するには、所有者だけではなく、行政や地域住民などが一体となり、森林に関わる人材の育成や森林環境の継続的な保全整備が重要である。それには、間伐と再生林、針葉・広葉樹林の混交林、森林整備・治山により二酸化炭素の森林吸収量の確保強化など適正な管理、また伐採から再生林に対し林業の収支がプラス転換になるための自動操作機械等を取り入れた新しい林業、更にはキノコ栽培などの農林複合施策や里山管理の協働活動など、新たな価値の創造が求められている。</p> <p>森林環境贈与税は令和元年から市町村に配分され、この財源として国民から森林環境税として令和6年施行予定であり、持続的な森林環境の保護や維持管理が強化され、間伐後に再生林がされていない土地や防災対策などの取り組みが可能となる。</p> <p>更に間伐・再生林等に伴い、森林資源の持続性を高め、SDGs、2050カーボンニュートラル、脱プラスチック等を見据えた対策も求められている。森林の循環利用をすることにより、水源涵養、災害や環境保全など、多くの恵みを私たちにもたらし、また林業は集落の維持や活性化にも影響を与え、行政を中心とした総合的な取り組みが求められている。</p> <p>① 森林環境贈与税の活用は。 森林環境贈与税を導入し、間伐・間伐後の森林再生、民有地の路網整備、水源涵養機能による洪水防止、地球温暖化の防止等の森林環境に関する持続的な林業の取り組みが不可欠である。</p> <p>② 山林の地籍調査の進捗状況は。 所有者の高齢化、不明・不在地主、地形変化などで、境界が不明確な山林が散見されるので、森林財産保全のため早期の対策が求められている。</p> <p>③ 野生動物の被害の現状は。 大山周辺地域でもイノシシに併せ、ニホンジカが急増し、今年度は10月末までで、前年度の84頭を上回る100頭が捕獲され、樹木の芽や樹皮を食い荒らすなど、野生動物による森林の被害がでているので、早急な対策が必要である。</p> <p>④ 山林の管理状況の現状は。 優良な木材を継続的に生産するには、下刈・除伐・間伐など、多くの森林作業が必要となり、労働力や費用の面で管理ができずに荒廃山林が増加している。</p> <p>⑤ 森林に対する愛着や生物多様性などの学校教育は。 森林環境贈与税を活用し、小中学校で木材を使った工作などを教育に取り入れることにより、森林へ興味や面白さが湧き、林業の愛着や自然豊かな故郷を守ろうとする心を育むことになる。</p>	<p>町長 教育長</p>



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年11月28日

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号 9番 大山町議会議員 大杖正彦



## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1 コロナ禍における不登校問題と教育支援の方針</p> <p>TV、新聞報道によると、2021年度の全国の小・中学校の不登校生徒数は24万4,940人にのぼり、実に小学校では77人、中学校では20人に1人と言う数字であり、県内でも小学生400人、中学生653人と増加、コロナ禍の影響と21年度は登校日数が例年並みとなった事が影響したとしており、興味深いデータがあります。</p> <p>コロナ禍の影響による不登校児童・生徒の学習や病んだ精神的ダメージの回復支援と、不登校前より家計の支出が増えたという調査結果が報じられています。</p> <p>報道によると増加する不登校生徒の行政対応には限界があり、民間の支援団体が取り組みを模索しているという現状を踏まえ、以下の質問を致します。</p> <p>① 本町は民間支援団体などとの連携、協力の実態はあるか。</p> <p>② フリースクールは通う生徒の状況（中学卒業後の進路など）は確認できているか。</p> <p>③ 不登校そのものが全て悲観（マイナス要素）ネガティブとは限らない。不登校中の自由時間を活用し、児童生徒個人が持つ才能を更に高める支援をどう考えるか。</p> <p>④ 令和3年度、教育委員会報告の事務管理及び執行状況の評価は、以下の事業が評価Bであった。各事業項目の評価がBとされた理由。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと大山を愛する生徒の育成</li> <li>・豊かな心の育成</li> <li>・健やかな体の育成（体育）</li> <li>・国際理解教育の推進</li> </ul>	<p>町長 教育長</p>



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年11月29日

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号 7番 大山町議会議員 門脇輝明



## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p><b>1 大山町の人口減少対策について</b></p> <p>先頃、ある集落でお話を聞いた。そこは住民が20戸程度の集落であるが、現在、小学生も中学生も高校生も一人もいないとのことであった。これは少なくとも12年以上もの間、この集落では一人の子どもも生まれていないと推測され、このままでは、集落の衰退は必至だと感じた。</p> <p>本町では、町長が昨年6月の所信表明で「政策の基礎となるのは『人口減少対策』です」と訴えられたとおり、町民みんなが暮らしやすい町を目指して、教育子育て支援、移住定住施策、経済産業の成長促進、健康・長寿・福祉のまちづくりなどに取り組んでいるが、高速道路のインターチェンジ付近など交通の便利なところ以外では人口減少の歯止めとはなっていないように思える。</p> <p>また、2019年の合計特殊出生率が2.95で日本一と言われている、岡山県の奈義町を見ると、本町とほとんど同じような施策を実施しているが、総人口の推移予測を見ると、2020年5,587人が2045年は3,688人となっている。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>① 町長は20年、30年後を見据え、人口減少が著しい既存の農村型集落の衰退をどのように捉えているのか。</p> <p>② 合計特殊出生率は多子化の取り組みの指標としては有効ではあるが、母数となる女性の数に大きく影響されることから、人口減少対策の指標としては奈義町の例のとおりに不十分であり、出生数と相関関係にある婚姻数を指標とすべきではないか。</p> <p>③ 本町は結婚を希望する方には様々な支援を行っているが、周囲に結婚しない知人がいて、結婚しなくてもいいと考えている方や結婚に興味がない方に、結婚してもいいかもと思っていただける施策をもっと進めるべきではないか。</p> <p>④ 教育長はふるさと教育について、ふるさとを良く知り、ふるさとを愛する心を養うと本議会でも度々答弁をされているが、誰がこの「愛するふるさと、愛する人たち」を守るのかという視点はどの様に教えているのか。</p>	<p>町長 教育長</p>



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



令和4年11月30日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 2番 大山町議会議員 西本 憲人 印

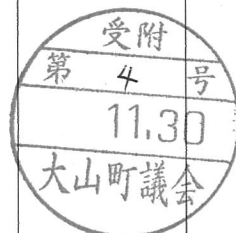


## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p><b>1. 感染者数世界1である歯周病対策は</b></p> <p>「歯周病は人類史上最も感染者数の多い感染症である。」</p> <p>「全世界で最も蔓延している病気は歯周病である。地球上を見渡してもこの病気に冒されていない人間は数える程しかいない。」</p> <p>これは、2001年にギネスブックに実際に記載されている文章である。その後20年経った今でも、世界一を破られることなく現在に至る。</p> <p>日本でも平成23年に厚生労働省が実地した、歯科疾患実態調査では成人の8割以上は歯周病の症状、30～70代の3人に2人は歯周組織に何かしらの異常があることがわかっている。</p> <p>歯周病菌が全身を巡ることによって、脳梗塞・心筋梗塞・狭心症などの循環器系のリスクが高まり、糖尿病など様々な合併症も誘発することがわかっている。</p> <p>今年の6月に閣議決定された骨太の基本方針2022では、「国民皆歯科検診」が話題となっている。</p> <p>虫歯や歯周病によって歯を失わないことをが、健康寿命を伸ばすこと、医療費を抑えることにつながるという国の方針である。</p> <p>(1) 本町の歯周病感染者数は。</p> <p>(2) 本町の歯科検診受診者数・受診率は。</p> <p>(3) 歯科検診受診に対しての助成はあるか。</p> <p>(4) 本町の虫歯・歯周病予防の対策は何を行っているか。</p>	町長



質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p><b>2. 全員英語が話せる町はいつやるのか</b></p> <p>大山町には英語が堪能な首長、そして語学に対しての実績のある副町長がいる。</p> <p>全国の自治体を見てもあまり例のないことであり、「全員英語が話せる大山町」という特色あるまちづくりを目指してもいいのではないか。</p> <p>語学は環境の整備が一番だと考える。家庭環境は各家庭が整備するものだと考えるが、公的な教育、自治体の環境は行政が整備するものである。</p> <p>(1) 本町で英語が話せる人の数は（本人の自覚で良い）。</p> <p>(2) 学校現場や教育としての英語教育の実態は。</p> <p>(3) 社会教育での英語学習体制の実態は（社会教育として）。</p> <p>(4) 本町の今の教育で英語が話せるようになるか。</p>	<p>町長 教育長</p>

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和 4 年 11 月 30 日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 6 番 大山町議会議員

池田 幸恵

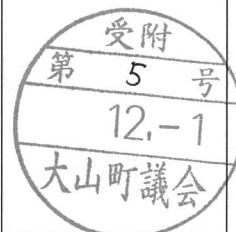
**一 般 質 問 通 告 書**

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p><b>1. 農産物加工場の活用は</b></p> <p>ちょうど1年前の令和3年12月でも農産物加工所について質問し、加工所の質問はこれで3度目になります。</p> <p>加工品を作って販売できる施設は、町内では1カ所（逢坂農産物加工所）しかありません。令和3年6月のハサップ導入からも書類対応し、問題なく運営してきました。</p> <p>今年3月には住民の要望書に対し「すでに前向きに動いている、6次産業の必要性は理解している」との返事があり、6月にはトイレの洋式化が行われました。その後、夏後半には業務用サイズのクーラーの取り付け、秋には業務用の大型電気機器に電気を送る三相も利用できるようになりました。</p> <p>このように、加工所整備が進むなか9月29日開催の説明会で利用者に突然閉鎖の報告がありました。「急な開催で利用者全員が参加できていない、説明が不十分、説明事項に納得がいかない」と再度説明会開催を求める要望があったにもかかわらず、開催はされませんでした。</p> <p>後日確認したところ、広報だいせん12月に掲載で報告し周知することでした。</p> <p>そこで以下のことを問う。</p> <p>① 閉鎖を決めた経緯と理由は。</p> <p>② 利用者への情報提供は。</p> <p>③ 施設の閉鎖を取り消さないか。</p>	<p>町 長</p>



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年12月1日

大山町議会議長 米本 隆記 様

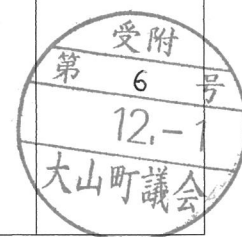
議席番号13番 大山町議会議員 吉原 美智恵 印

**一 般 質 問 通 告 書**

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p><b>1. 大山町における森林管理の現状と課題は</b></p> <p>わが国の約67%を占める森林は、水を貯え、多様な生物の棲家となり、二酸化炭素を吸収するという公益的機能を果たし、持続可能な開発目標（SDGS）に深く関係しており、重要な役割を担っている。</p> <p>大山町は特に森や水に恵まれた資源豊富な町であり、「森は海の恋人である」という言葉もあるように、漁業にも影響を与える森林の適正な管理が求められている。</p> <p>(1) 「森林管理法」が施行されているが、市町村の役割を認識した本町の取り組みは。</p> <p>(2) 山林の売買における、外国資本による買収状況の確認はできているか。</p> <p>(3) 森林セラピー等の活用は。</p> <p>(4) 地域循環型産業としての自伐型林業の取り組みを進めてはどうか。</p> <p>(5) SDGS に深く関係する、森林環境保全を継続する人材育成の取り組みは。</p>	<p>町長 教育長</p>

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年12月1日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号8番 大山町議会議員 大原 広巳 印

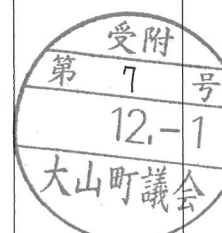


## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p><b>1. 堆肥活用について</b></p> <p>(1) 畜産農家や農協・肥料メーカーなど産地関係者で、国が「畜産環境対策支援事業」の中で堆肥活用に支援するが、行政としての関わりをどう考えているか。</p> <p>(2) 本町の堆肥センターは1カ所であるが、中山・大山地区にも必要ではないか。</p> <p>(3) 大山恵みの里公社と、堆肥活用で農産物のブランド化を推進するために、今何が必要か。</p> <p>(4) 飼料や資材燃料の高止まりで、農業経営に閉塞感が出ているが、将来を考えると農業町である本町がより耕畜連携を推進するチャンスと思うが、町長のビジョンは。</p>	町長
<p><b>2. 山陰道淀江インター跡地活用事業について</b></p> <p>(1) 審議会の進捗状況は。</p> <p>(2) 広域防災施設として、ヘリポートの併設を考えてみないか。</p> <p>(3) 鳥取砂丘と出雲大社のまん中にあり、本来、山陰観光の中心的拠点として鳥取・島根をPRする複合施設にするべきと思うが、町長のビジョンは。</p>	町長
<p><b>3. 防災対策について</b></p> <p>(1) 里部の地区でも、除雪機導入の補助の要望を聞くが、新しい補助事業の状況は。補助率2分の1で良いか。</p> <p>(2) 自主防災組織も参加が頭打ちとなったが、広域的な防災啓蒙のため、消防団員の他に地域自主組織などにも防災士の取得を推進してほしいが、現状と今後の計画はどうなっているか。</p> <p>(3) 今年の冬は大雪が予想されている。集落の除雪ボランティアにも補助金が出ているが、さらなる協力を得るために周知や補助額の増額も考えてみないか。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年12月1日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 3番 大山町議会議員

豊 哲也



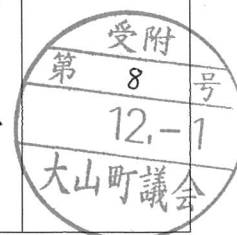
## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p><b>1. フリースクールへの支援について</b></p> <p>現在の公教育が合わなかったり、何らかの理由で不登校になっている生徒児童が増えている。また「詰め込み式」ではなく「自分で考える」教育環境のほうが、自分の才能を発揮する子供たちも増えてきており、むしろ地方でそうした環境をつくることで、移住者が増えている事例もある。</p> <p>多様化するニーズの中で、公教育で補いきれない部分が出てきていることから、フリースクールの需要が高まってきている。本町の考えを問う。</p> <p>(1) 現在、本町の公教育が抱える大きな問題点はどこにあると考えているか。</p> <p>(2) 長く不登校になった児童生徒の受け皿として、どのようなことを対応しているか。また今後していくのか。</p> <p>(3) 地方では学力が特に高い児童生徒に対しての教育環境が十分に整えられないのでは、という議論が上がるが本町としての考えは。</p> <p>(4) シュタイナー教育などの、児童生徒が「自由な自己決定」ができる教育環境、また方針についてどのような見解をもっているか。</p> <p>(5) フリースクールを行う面で、1番の障壁となっているのが費用的な問題であり、次に来るのが「出席日数」の問題だと考えている。特に「出席日数」の問題では、強く官民が連携し対応すべきと考えるが、これまでの対応と今後の方針は。</p> <p>(6) フリースクールの費用は全国平均で月約 32,000 円、年間約 38 万円とも言われ、自己負担であり、大きな負担である。しかし経営面で考えるとそれでも資金的に不足しているのが現状である。難しい問題ではあるが、フリースクールを行う事業者を資金的にバックアップすることはできないか。</p> <p>(7) やむを得ず町内の学校に行けなくなった場合、その個々の状況を踏まえ、町外の学校等の施設に通う通学費などを補助できないか。</p>	<p>町長 教育長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p data-bbox="204 219 1214 259"><b>2. オーガニック給食・オーガニックビレッジ宣言について</b></p> <p data-bbox="197 277 1326 488">肥料三要素のうちのリン酸・カリウムは大半が輸入にたより、その高騰から肥料も高騰し大きな打撃となっている。もしその輸入が止まれば、そもそも農作物をつくること自体が難しくなってくる。食の安全の観点と食料自給の国防の観点からも化学肥料から代替えの対策が喫緊の課題である。</p> <p data-bbox="197 510 1331 663">国の施策としても「みどりの食料システム戦略」が打ち出され、半年前の2022年6月議会において、「オーガニック給食」「オーガニックビレッジ宣言」に関して「体制を整えば検討していきたい」と前向きな答弁をいただいた。</p> <p data-bbox="197 685 1323 779">委員会でも先進事例を確認したこのタイミングで、現在の状況を確認し、さらなる提言をする。</p> <p data-bbox="217 860 1326 954">(1) オーガニック給食について、もともと有機栽培地産地消の受け皿として給食が位置付けられているとのことだったが、現状と今後の方針は。</p> <p data-bbox="217 1034 1331 1187">(2) 今治市の先進事例では、食の安全を議員発議で宣言したことで、市民のアイデンティティの醸成や特別栽培米の100%使用など大きく進んだ。本町のオーガニックビレッジ宣言の進捗と今後の方針は。</p> <p data-bbox="217 1267 1331 1420">(3) 本町は他の自治体と比べても大きな農地を持ち、畜産も盛んである。本町ならではの耕畜連携施策が打てるかと思うが、現在の施策と今後の方針は。</p> <p data-bbox="217 1500 1331 1653">(4) 特にリン酸・カリウムに関しては輸入が止まってしまえば、農業ができなくなる。有機肥料の成分検査や使用方法の研究、安定供給の手段の模索やロジスティックの構築などできているか。</p> <p data-bbox="217 1733 1331 1944">(5) 今治市の事例では特別栽培米を給食に100%使うためにその差分に補助金をつけ補填している。ふるさと納税のサイトに使い道を記載する箇所があるが、「子供たちに食の安全を」などと促し、より具体的に大山町を応援してくれる方と大山町を担う児童生徒を結びつけてはどうか。</p>	町長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



令和4年12月1日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 1番 大山町議会議員 小谷 英介



## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 岡山県和気町の取り組みについて（教育環境の充実、転入転出の動機調査）</p> <p>教育民生常任委員会で実施した行政視察を通じて、岡山県和気町において、子どもが無料で通える学び場（公営塾）の取り組みが、子育て世帯の移住促進施策として大きな成果をあげていることを学んだ。この取り組みは、現在の本町が向かう方向性とも親和性があるように思う。ぜひ本町でも検討できないか。具体的には以下、それぞれについて検討・実施できないか。</p> <p>① 町内の保護者や子どもへ向けて放課後の学びの場についてのニーズ調査をしないか（学びたいこと、学ばせたいこと、時間帯、その他要望について）。</p> <p>② また町内の学びの場を運営している個人・事業者の調査・ヒアリングをしたうえで、民業圧迫に配慮をし、すみ分けを念頭に置きながら、子どもや保護者からニーズはあっても学校教育ではカバーしきれない分野についての検討を進められないか。</p> <p>③ 地域おこし協力隊（+役場職員）を事務局として、町内の学びの場を運営している個人・事業者にも運営に関わってもらうような体制を検討できないか。</p> <p>④ 運営場所について、中山・名和・大山にひとつずつ適した場所があることが望ましいが、3カ所を一斉に整備することは難しい可能性もあるので、整備ができた地区から試験的に事業を開始していくことも検討できないか。</p> <p>⑤ この取り組みの成果だけではなく、既存の人口社会増を目指す施策の成果を測定するためにも、役場窓口にて、転入者・転出者を対象にして、転入転出を決めた理由を問うアンケートを導入しないか。（和気町においては、この方法で成果を測っている）</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>町長 教育長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

令和4年12月1日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 4 番 大山町議会議員 島田一恵



## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p><b>1. 起業支援事業の拡充について</b></p> <p>「大山町ひと・暮らし・しごと」創生総合戦略の基本目標しごとの中では、5年後の本町の目指す姿に、町内の全ての産業を維持・創出し安定した生活を送れるまち、とあります。</p> <p>本町では、様々な政策に取り組んでおられますが、コロナウイルス感染症の影響がまだまだ続く中、支援制度の拡充について伺います。</p> <p>① リノベーション創業支援補助金の活用により町内でも店舗を開業されています。 スタートとしてからの申込み件数と採決件数と職種は。</p> <p>② 町内で新たに起業し町内に住所を有する者に対し、起業支援事業として補助金の取り組みは。</p> <p>③ 町内の空き家や空き店舗を活用し、オフィスを設ける県外事業者への支援事業の取り組みは。</p>	町長
<p><b>2. 生活道路の改善整備支援について</b></p> <p>① 高齢化が進み地域の町道や生活道路での作業の負担が増している。 作業負担を軽減し、地域の支え合いを進めるために生活道路の改善整備に補助金を出すことはできないか。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

令和4年12月1日

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号14番 大山町議会議員 岡田 聰 印



## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1、住宅増加地域の環境整備を</p> <p>様々な政策の成果や高速道路 IC の効果などで、近年大山口・所子周辺に新しい住宅がとて多く建ちました。人口減少を緩和するうえで素晴らしいことと思います。しかし、急速に住宅が増えたことで環境整備が整はない面が出てきているのではないかと。</p> <p>計画的に団地として、宅地や道路そして公園など整備する場合はいいが。そうでなくて、個人個人が農地を買って宅地転用し住宅を新築する。狭い農道脇に住宅が増えている状況です。住宅が増えているのに農道のままで除雪もして貰えない。車の出入りも多くなりすれ違いが出来ないからバックしたりして待機する。中学生も通るのに危険、町道認定を。また、子供を遊ばせる小さな公園も欲しいなど、新しい町民の要請は多いと思います。</p> <p>(1) 農道を町道へ認定するには、どういう条件が必要か。住宅が立ち並んでくれば、町道に認定すべきではないか。</p> <p>(2) 除雪路線にする条件は。</p> <p>(3) 公園整備は自治会の責任か。</p> <p>(4) 通学の安全確保は。 以上質します。</p>	町長 教育長
<p>2、令和5年度予算編成方針と財政運営は</p> <p>新型コロナ禍はいまだ去らず、世界中の経済に過大の悪影響を与え続けている。来年度予算編成方針と財政運営をどう進めて行くのか。</p> <p>(1) 新型コロナ感染症対策と地域経済活動活性化の両立は。</p> <p>(2) 発展し成長する持続可能な大山町をつくる施策は。</p> <p>(3) 町民生活、雇用、事業そして、地域を守る施策は。</p> <p>以上質します。</p>	町長 教育長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年12月1日

大山町議会議長 米本 隆記 様

12番 大山町議会議員 近藤 大介

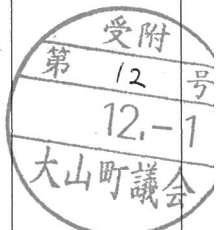


## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 大山町のまちづくりについて</p> <p>1) 竹口町長がめざすまちづくりとはどのようなものか。簡潔にわかりやすく説明されたい。</p> <p>2) 協働のまちづくりについて、大山町の現状と課題は。また、協働のまちづくりを進めるための体制は、どうなっているか。</p> <p>3) 地域自主組織の役割は。現状と課題は。</p> <p>4) 地域自主組織の役員、集落支援員が、必ずしも地域の実情に精通しているとはいえない状況がある。</p> <p style="padding-left: 2em;">地域課題の解決に取り組む自主組織の取り組みが円滑に進むためには、地域の実情や行政的な課題に精通した人材によるアドバイスやコーディネートが必要ではないか。役場職員OBなどをそのような立場の相談員として、各自主組織に配置してはどうか。</p> <p>5) 住民参画のまちづくりを進めるため、自主組織単位、旧町単位のまちづくり計画が必要ではないか。</p> <p>6) 集落自治の担い手不足について、町長の認識は。集落自治の担い手不足に対し、町は、どのような施策を行っているか。また、今後の施策の方針は。</p> <p>7) 地域自主組織の事業を始め、地域の行事やイベントで役場職員の顔を見ることが少なく残念に感じている。役場職員は積極的にまちづくりの活動に関わってほしいと思うが、町長の認識は。</p> <p>8) 役場職員がまちづくりの活動に積極的に関わることができるよう、ボランティア休暇の取得を奨励したり、人事評価で地域貢献による加点をするなどの工夫はできないか。</p> <p>9) まちづくりに関連するイベントで、コロナ禍で何年も中止になっているイベントや規模縮小になっているイベントが多くあり、参画する立場の町民は、今後の継続的な実施に消極的になっているケースも少なからずあるように思う。来年度は、ウィズコロナでもできるだけ積極的な取り組みができるよう、積極的な予算付けが必要と思うが、町長の認識は。</p> <p>10) 令和3年度の出生数(旧町ごと)、今年度(年末まで)の出生数の見込み(旧町ごと)、また、令和5年度の出生数の見込み(できれば旧町ごと)は、それぞれ何人か。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年12月1日

大山町議会議員 米本隆記 様

議席番号 10番 大山町議会議員 大森正治 印



## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. デジタル化とマイナンバーカードについて問う</p> <p>デジタル化の進展によって変わってきた私たちの暮らしは、今後さらに大きく変わろうとしている。本来、デジタル技術の進歩は、私たちの幸福や健康に役立つものでなくてはならない。地方自治体としても、地方自治の発展や住民の福祉の増進のために、これを有効に活用していくことが求められている。</p> <p>その観点から、住民にとっても身近な話題になっているマイナンバーカードについて、改めて認識を新たにすると考える。</p> <p>2016年1月に交付が始まったマイナンバーカードの普及について、政府は今年度末までにほぼ全国民がカードを取得するよう目指している。しかし、なかなか進まない普及率に業を煮やしたのか、政府はマイナンバーポイントを最大2万円分付与する仕組みを作った。その効果があったのか、現在、国民の約半数が申請し交付を受けている。それでも不十分とみた政府は、今の健康保険証を2024年秋に廃止してマイナ保険証に一本化する方針を打ち出した。また、政府は、マイナンバーカード交付率が全国平均の地方自治体のみ「デジタル化交付金」をつけるということまで言い出した。</p> <p>まさにこれらは、任意であるマイナンバーカードの取得を、アメとムチによって強制するものである。岸田政権がここまでしてマイナンバーカードを国民に取得させようとするのは何故だろうか。</p> <p>マイナンバー制度は、国民に利便性をもたらすであろうという半面、逆の様々な問題点も指摘されている。この制度(マイナンバーカード)の光と影、メリットとデメリットを少しでも明らかにして、住民に正しい認識と判断をしてもらう必要があるのではないだろうか。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 本町のマイナンバーカードの普及率(申請、交付)の最新状況はどうか。</p> <p>(2) マイナンバーカードは、住民にとってどんなメリットがあるか。</p> <p>(3) マイナンバーカードは、住民にとってどんなデメリットがあるか。</p>	町長



(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。  
 質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>(4) 健康保険証を廃止してマイナンバーカードに一本化する「マイナ保険証」義務化について、町長はどう認識するか。</p> <p>(5) 「デジタル化交付金」の交付の仕方についてどう認識するか。</p> <p>(6) 町民のマイナンバーカード普及について、今後どうする考えか。</p>	

(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。  
質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。